

建交労大阪府本部情報

大阪市北区錦町2-2 国労大阪会館 電話4800-7115 FAX 4800-8136 2015年5月20日 NO22

歴史的な大闘争に決起し「戦争立法」の阻止を

第5回常任執行委員会：夏から大会にかけての活動方針を討議

夏から大会にかけての闘争課題

- ①「戦争立法」を阻止し、憲法9条を守り平和な日本をめざす闘い。
 - ②労働者派遣法改悪など労働法制改悪を許さずに権利を守る闘い。
 - ③夏季一時金要求の実現をめざす闘い。
 - ④1000人府本部建設の達成をめざすととりくみ。
 - ⑤大阪府知事選挙 大阪市長選挙など政治の民主的転換をめざすたたかい。
 - ⑥第17回定期大会準備と成功をめざすととりくみ。
- ※大阪府本部常任執行委員会は、5月16日に「戦争立法」阻止のアピールを発表し、ホームページに掲載しました。

夏季一時金闘争の構えと日程

- 夏季一時金闘争は、賃金闘争として位置づけていきます。夏季一時金闘争では、2015年春闘における賃金引上げ回答が不十分な結果になっていること。一方では、回答内容が大企業と中小企業での回答の格差、さらには運輸業界などでの低額回答など2極化になっていることを直視し、生活向上と格差是正をめざして闘います。
- 夏季一時金闘争は、要求への確信を深める一方、「要求にもとづく団結と共同」を重視し、統一闘争として闘います。
- 要求提出、回答指定日について
 - イ、夏季一時金要求の未提出の支部・分会は、5月30日までに提出することになります。
 - ロ、回答指定日は次の日程で配置します。
 - ※第1次回答指定日 6月 3日(水)
 - ※第2次回答指定日 6月10日(水)
 - ※第3次回答指定日 6月17日(水)
 - ※第4次回答指定日 6月24日(水)
 - ハ、解決目標は6月末です。

大阪府本部は5月16日、第5回常任執行委員会を開催し、夏から大会にかけての活動方針について討議し、5月30日の執行委員会で確認決定することにしました。

夏から大会にかけての活動方針では、**第1**に、安倍自公政権が5月15日、国民の反対の声を無視し国会に提出した「戦争立法」の阻止など、国民的な政治課題に総力を結集していくこと。**第2**は、夏季一時金要求の実現をめざすこと。**第3**に、1000人支部建設をめざす組織拡大 強化のととりくみ。**第4**に、11月に行われる府知事・大阪市長選挙の闘い。**第5**に、第17回定期大会の準備と成功をめざすととりくみを課題にかかげています。

とくに、安倍政権が国会に提出した「戦争立法」について、集団的自衛権行使の名によって、アメリカと一緒に「海外で戦争（武力攻撃）する国」をめざすためのものであり、憲法9条を破壊し、戦後の日本社会のあり方を根本的に転換する暴挙であり、歴史的な闘いに総決起し「戦争立法」を必ず阻止することを明らかにしています。

辺野古基金へ10000円募金 基地建設阻止：県民集会に35000人

米軍基地建設阻止の闘いも夏から大会にかけての重要な課題です。5月17日に行われた基地建設阻止の県民集会は、本土からも含めて35000人が参加しました。また、翁長沖縄県知事は27日、アメリカを訪問し、米軍基地建設阻止を訴えることにしています。

府本部常任執行委員会は、沖縄県民の闘いに連帯し、基地建設阻止を勝ちとるため、辺野古基金に10000円を募金することを決定しました。

市民の良識と共同が大阪市の解体を許さなかった 「特別区設置」（都構想）の住民投票：反対が多数

大阪市の解体（特別区設置）をめぐる住民投票が5月17日、大阪市内の有権者を対象に実施されました。住民投票では、大阪維新の会が提案した大阪市の24区を5つの特別区に再編する案について、反対が賛成を上回り、大阪市が政令都市として存続することが確定しました。



住民投票では、此花支部や府本部書記局やタイムス物流分会などが連日、対話 宣伝などで奮闘しました。此花支部と書記局は、JR天満駅前での宣伝行動とともに終盤には淀川区へ特選隊として参加しました。タイムス物流分会は、終盤の10日間、宣伝カーの運転手として勝利に貢献しました。

投票結果（投票率66, 83%）
「特別区設置」に反対：705,585
「特別区設置」に賛成：694,844

定期大会にむけ組織拡大の目標達成を

運輸一般支部が5名拡大、建設一般は、未組織宣伝と未加盟組合訪問を実施

大会に向けた拡大運動の目標と計画

- 大会までの府本部全体での拡大目標は50名とする。
- 各支部・部会は、機関会議で拡大目標と対象、計画を5月末までに確立すること。
- 対象にむけた行動計画を具体化し、成果に結びつけること。
- 要求・実績などでの宣伝行動を配置すること。

府本部第17回定期大会にむけた組織拡大運動が重要な課題になっています。府本部は、「戦争立法」阻止をめざす闘いとともに、組織拡大運動を最重要課題に位置づけ、昨年の大会で決めた年間目標の総達成をめざしていくことにしています。

建設一般合同支部は5月17日に未組織宣伝行動を城東区と鶴見区で行い、約1500枚のピラを配布しました。また、5月19日には、単独未加盟労組の訪問活動を実施しました。大阪トラック部会は、5月28日に南港TTで宣伝行動を計画しています。

府本部役員と支部・ブロック三役 合同会議の開催

「戦争立法」の阻止など夏から大会にかけての活動方針を確認し、意思統一をはかるための府本部役員と支部（ブロック）三役の合同会議を開催します。必ず出席してください。

記

日時 6月4日（木）18時30分

場所 国労大阪会館・中会議室

内容 1、講演

※「戦争立法」の内容と問題点

2、夏から大会にかけての活動方針

3、その他

参加対象は、府本部役員・支部（ブロック）三役とします。

支部への期待と信頼が大きくひろがる

組織拡大での到達状況は、運輸一般支部が5月に入って5名の仲間を迎え入れています。特徴的なのは組合員からの紹介での加入が4人になっていることです。この状況について支部の荻田書記長は「支部への期待と信頼が大きくなっている証拠だ。この期待に応えるためにも原則を堅持した闘いを構築していきたい」と語っています。

全国酸素部会が幹事会を開催



全国酸素部会（19支部部分会：200人）は5月16日、幹事会を開催しました。幹事会では、2015年春闘の総括と次回の定期総

会と講習会など討議し、確認しました。

春闘総括では、全国的に厳しい状況の中、昨年実績を上回る回答を引き出すなど、職場からの闘いが前進したことが報告されました。また、次回の定期総会は10月11日に開催することも確認しました。講習会も同日におこないます。